

(様式7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成16年8月30日)

事業コード	H16-建-継-23			区 分	国庫補助・県単独
事業名	特定交通安全施設等整備事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	歩道等			課 室 班 名	道路環境課 道路環境推進班 (tel) 2488
路線名等	主要地方道 横手東由利線			担当課長名	虻川 憲悦
箇所名	雄物川町沼館			担当者名	主任 石川 康樹
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	3	施策名	交通安全や地域安全対策の推進	
	目標コード	2	施策目標名	交通安全施設の整備(歩道等整備率)	

1. 事業の概要

事業期間	H14～H18(5年)	総事業費	8.0億円		国庫補助率	1/2	
事業規模	延長L=3,352m、幅員W=11.0(2.5-1.25-6.0-1.25)						
事業の立案に至る背景	<p>主要地方道横手東由利線は横手市を起点とし東由利町に至る幹線道路である。当該区間は、雄物川町の中心地区から町を東西に横断する道路で、沿線には小・中・高等学校施設の他コミュニティセンター等の公共施設があり通学児童等歩行者が多いにもかかわらず歩道未設置となっていることから、歩行者は危険な状況にさらされている。</p> <p>このため、平成14年度より歩道の設置に着手し、安全かつ快適な歩行者空間の確保を図るものである。</p>						
事業目的	交通安全施設の整備により、事故の減少、交通の安全を確保し、交通環境の改善を図る。						
事業費内訳 事業内容	(単位:千円)						
		全 体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降	
	事業費	795,000	203,000	160,000	140,000	292,000	
	経費内訳	工事費	597,400	60,700	129,000	128,200	279,500
		用補費	86,383	72,083	13,300	1,000	
		その他	111,217	70,217	17,700	10,800	12,500
	財源内訳	国庫補助	397,500	101,500	80,000	70,000	146,000
県債		159,000	40,600	32,000	28,000	58,400	
その他							
事業内容	238,500	60,900	48,000	42,000	87,600		
事業内容		詳細設計 用地補償 歩道工	用地補償 歩道工	補償費 歩道工	歩道工		
事業推進上の課題							
上位計画での位置付け	総合計画における施策「交通安全や地域安全対策の推進」を支援する事業						
関連プロジェクト等							
事業を取り巻く情勢の変化	当該区間は近年、事故が多発しており、道路利用者にとって危険な状態にある。						
事業効果把握の手法及び効果	指標名	歩道等整備率			データ等の出典	交通安全施設現況調査	
	指標の種類	成果指標 (業績指標)					
	指標式	歩道整備済延長/県道路延長			把握の時期		
	目標値 a	40.5%					
	実績値 b	32.7%					
	達成率 b/a	80.5%					
					H13年度末		

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	指摘事項への対応			

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点
必 要 性	12時間自動車交通量が3,382台、歩行者交通量が67人/日（学童・園児44人/日）であり、事故が発生している。 設計区間前後に歩道があり、歩道の連続性が必要。	点 2 5
緊 急 性	本路線は交通安全指定道路になっており、交通安全上の重要路線である。	点 5
有 効 性	事業実施により歩行者と車が分離され歩行者の安全性が向上する。 沿道状況の変化がなく、採択時と同様の効果発現が可能。	点 2 0
効 率 性	過去5ヶ年の事故状況は8件の事故が発生している。 計画変更の必要がなく、事業促進が見込まれる。	点 2 5
熟 度	地元住民、関係機関の意向が採択時と比べて特段の変化がない。 進捗が順調で計画どおりの完成が見込まれる。	点 2 3
判 定	ランク（ ○ ） ほぼすべての観点で高い得点となっており、交通事故数を減少させ、生活の安全と地域の振興を図ることも有効な事業箇所であり、実施すべきと考える。	点 9 8
総合評価	<p>継続 改善して継続 見直し 中止</p> <p>事業継続は妥当である。</p>	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

当該事業の施工にあたっては、整備計画を踏まえ着実に推進する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価および対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所 (継続箇所) 事業コード (H16 - 建 - 継 - 23) 箇所名 (沼館)

適用事業名 特定交通安全施設等整備事業

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の利用状況				
	12時間自動車交通量	1,000台/日以上	5	5	通学路以外の場合
		1,000台/日未満	0		
		500台/日以上	5		
		500台/日未満	0		
	歩行者交通量	100人/日以上	5	5	通学路の場合
		100人/日未満	0		
		学童・園児 40人/日以上	5		
		学童・園児 40人/日未満	0		
	歩道の連続性	計画区間前後に歩道あり	5	5	概ね500m以内
		計画区間前後に歩道なし	0		
	歩行者・自転車交通量	150人台以上	5	5	
150人台未満		0			
道路幅員	車道幅員(路肩含む)5.5m以上	5	5	一方通行の場合3.5m以上	
	車道幅員(路肩含む)5.5m未満	0			
計			25	25	
緊急性	交通安全指定道路	指定あり	5	5	
		指定なし	0		
	計				
有効性	歩行者等の安全性向上	あり	10	10	
		なし	0		
	沿道状況の変化	状況変化がなく採択時と同様の効果発現が可能	10		
		状況変化はあるが現状で効果発現が可能	5		
計			20		
効率性	事故状況(過去5箇年)	6件以上	15	15	
		1~5件	10		
		なし	0		
	計画変更の必要性	計画変更の必要が無く、事業促進が見込まれる	10		
		計画変更が必要だが、事業促進が見込まれる	5		
計			10		
塾 度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	5	3	
		口頭要望あり	3		
		要望なし	0		
	地元住民・関係機関の意向	採択時と比べて特段の変化がない	10	10	
		採択時と比べて低下が見られるが改善の見通しがある	5		
		採択時と比べて著しく低下し改善の目処が立たない	0		
	進捗状況	進捗が順調で計画どおりの完成が見込まれる	10	10	
		多少の阻害要因があるが解決の見通しがある	5		
		阻害要因の難易度が高く進捗の目処が立たない	0		
計			25	23	
合 計			100	98	

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	98	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	80点未満		